

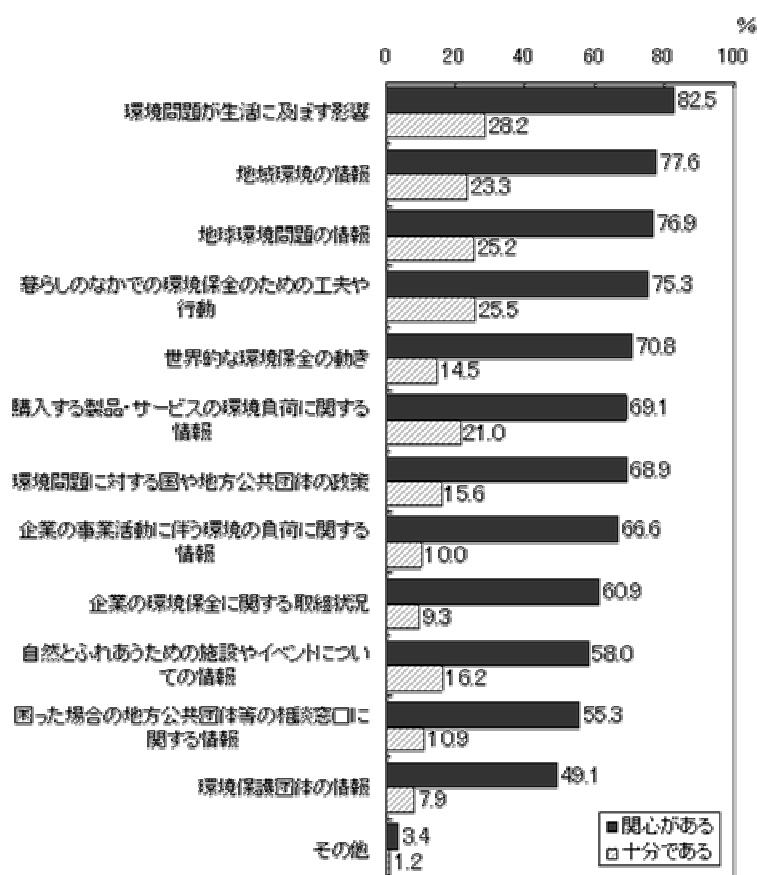
7. 環境情報への関心・充足度・入手経路（問6、問7）

様々な種類の環境情報について、関心と充足度を聞いたところ、全体的に、関心は高いが充足度が低くなっている。

「関心がある」との回答が70%以上だったのは、「環境問題が生活に及ぼす影響」「地域環境の情報」「地球環境問題の情報」「暮らしの中での環境保全のための工夫や行動」で、60%未満にとどまったのは「環境保護団体の情報」「困った場合の地方公共団体等の相談窓口に関する情報」である。

また、情報の充足度が「十分である」という回答が20%以上だったのは、「環境問題が生活に及ぼす影響」「地域環境の情報」「地球環境問題の情報」「暮らしの中での環境保全のための工夫や行動」「購入する製品・サービスの環境負荷に関する情報」で、「環境保護団体の情報」「企業の環境保全に関する取組状況」は10%未満であった（図表13）。

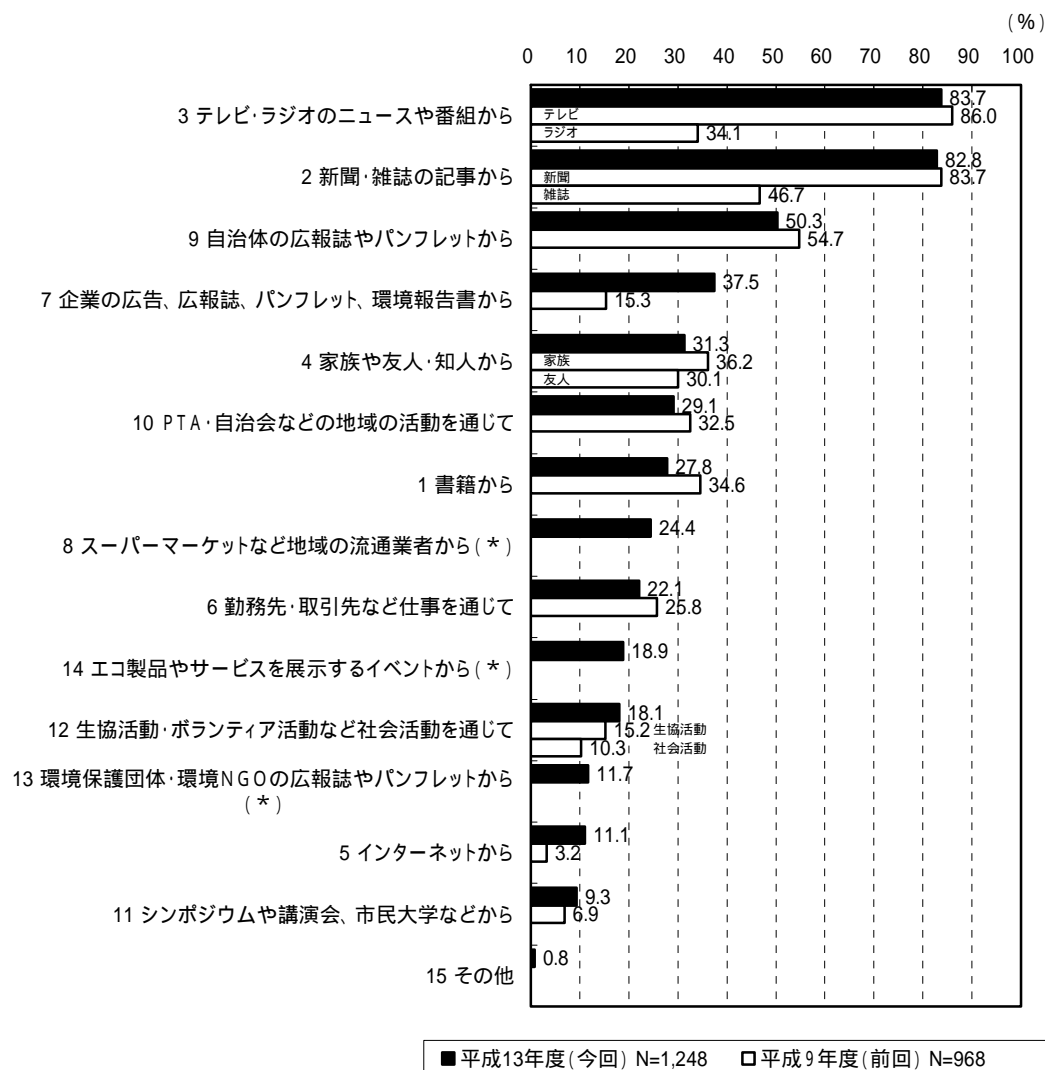
図表13 環境情報への関心と充足度（全体）



注)「関心がある」は、「大変関心がある」「やや関心がある」の計、「十分である」は「十分情報を得ている」「まあ情報を得ている」の計

環境情報の入手は、「ラジオ・テレビのニュースや番組」、「新聞・雑誌の記事」からが8割以上と多い。前回と比較すると、マスコミ情報が多い傾向は変わらないが、質問項目に広告や環境報告書を加えたためか、「企業の広告、広報誌、パンフレット、環境報告書から」が大幅に増加した。

図表 1 4 環境情報の入手経路（全体、時系列）
（「よく入手する」「ときどき入手する」比率の合計）



注) 1. 以下の項目については、平成9年度調査では内容について別個に質問していたため、単純に比較できない。

平成13年度	平成9年度
「新聞・雑誌」	「新聞」と「雑誌」を別個に質問
「テレビ・ラジオ」	「テレビ」と「ラジオ」を別個に質問
「家族や友人・知人」	「家族」と「友人」を別個に質問
「生協活動・ボランティア活動」	「生協活動」と「社会活動」を別個に質問

2. *印のものは、今回の調査より追加した項目を示す。

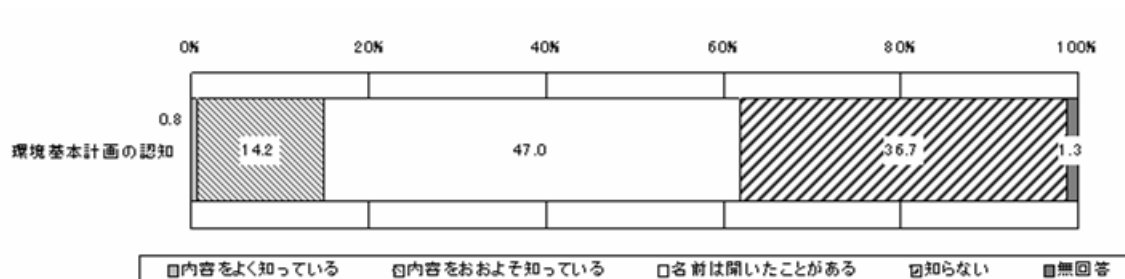
3. 「企業の広告、広報誌、パンフレット、環境報告書から」は、前は、「企業の広報誌やパンフレットから」と質問している。

10. 環境基本計画の認知と環境行政への評価（問8）

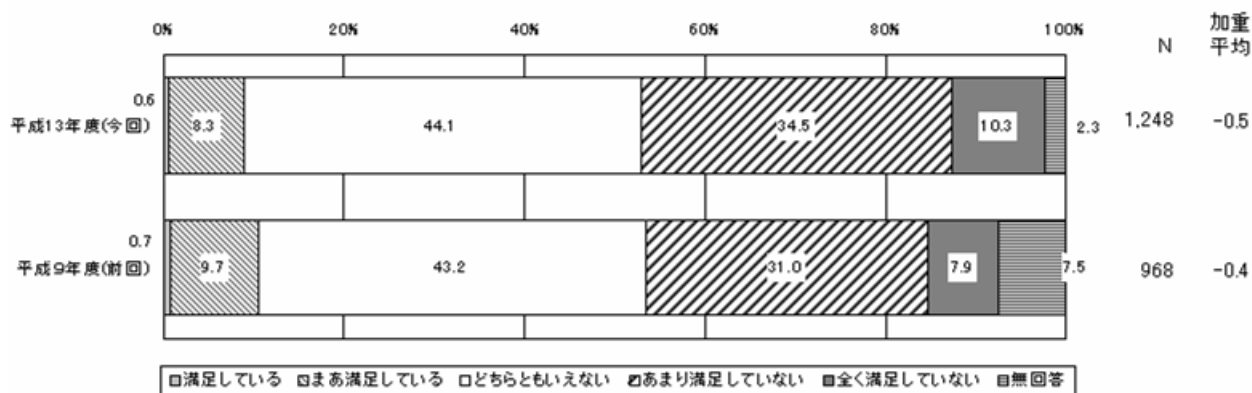
環境基本計画の認知状況は、「内容をよく知っている」レベルは0.8%に過ぎず、「内容をおおよそ知っている」を含めても15%にとどまる（図表15）。

また、環境行政全体への評価は、「満足している」「まあ満足している」をあわせて1割にも満たない（図表16）。

図表15 環境基本計画の認知状況（全体）



図表16 環境行政全体の評価（全体、時系列）



注)この項の加重平均は、「満足している」に2点、「まあ満足している」に1点、「どちらともいえない」に0点、「あまり満足していない」に-1点、「全く満足していない」に-2点を与えて算出した。